

# 令和4年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 花尾 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

#### 教科に関する調査(国語、算数、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

#### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

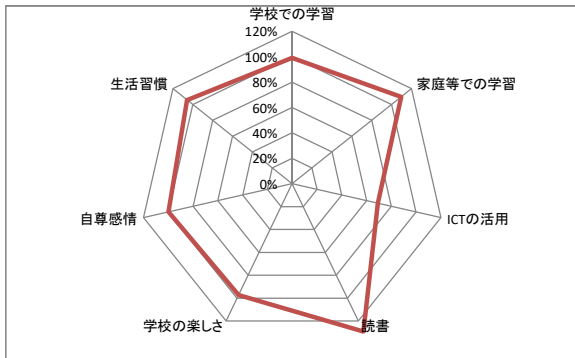
#### (1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	ほとんどの問題の正答率が全国平均を上回っている。正答数分布をみると、分布に広がりがあり、正答率が高い児童が割合的に高い一方、低い児童も一定数いることが分かる。文章の中から、問題に適した文を見付けることが苦手な児童が多い。	全国平均正答率との比較 上回っている
算数	全体的な傾向や特徴など	ほとんどの問題の正答率が全国平均を上回っている。正答数分布をみると、分布に広がりがあり、正答率が高い児童が割合的に高い一方、低い児童も一定数いることが分かる。倍数と約数の問題の正答率が低い。	全国平均正答率との比較 上回っている
理科	全体的な傾向や特徴など	ほとんどの問題の正答率が全国平均を上回っている。正答数分布をみると、分布に広がりがあり、正答率が高い児童が割合的に高い一方、低い児童も一定数いることが分かる。光の反射の問題と器具の名前の正答率が低い。	全国平均正答率との比較 上回っている

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
○ 学校に行くのが楽しいと感じている児童が多く、人と違う意見を持つことを恐れず、自分の良さを認めながら生活している児童が多くいる。
○ 読書習慣が身につけている児童が多く、全国平均を大きく上回っている。
○ 計画的に家庭学習を行っており、学習時間も全国平均を大きく上回っている。
● ICTの活用については低い数値を示している。昨年度は、満足にICTを使っているとは感じていない児童が多かった。そのため、本年度から、AIDリルや、タブレットを用いた学習やアンケートを積極的に行っている。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ☆ 児童の意欲関心が高まる授業改善を行っている。
- ☆ AIDリルなどを活用し、基礎基本の定着を図ることのできる取組を行っている。
- ☆ 個人差が大きいため、活用力の向上を図ることのできる授業改善を行いつつ、個別の支援を行っている。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ☆ 家庭学習の具体的なやり方を指導したり、自主学習を学校で教師が評価したりすることで、児童の意欲の向上を図るようにしている。
- ☆ 携帯やスマホの使い方については、約束を守って使っている家庭が多いことが分かった。引き続き、学校でも、学習時間や手紙などを利用して声かけを行っていく。
- ☆ 児童が中学校への進級に対する不安を取り除けるように、中学校と連携を図っていく。